

うちこ福祉館だより

令和7年
5月発行
電話・FAX
44-3410

地域福祉の向上と人権啓発の住民交流の拠点として、
うちこ福祉館の令和7年度事業がいよいよスタートしました。

健康体操「楽々フィットネス」

受講生を募集しています。

四月一〇日(木)にプラチナコース、
十一日(金)にゴールド・パールコース
それぞれの開講式を行いました。

健康で豊かな毎日を過ごすために、
リズムにあわせて楽しく身体を動か

します。全コース、まだ若干の空きが
あります。自分のリズムで和気あいあ
いと、楽しく健康づくりに取り組んで
みませんか。

事前の見学もできますので是非ご
連絡ください。

○プラチナコース

椅子に座つての運動です(中軽度)。
毎週木曜 午前九時三〇分〜
十時三〇分

○ゴールドコース

椅子に座つての運動です(軽度)。
毎週金曜 午前九時三〇分〜
十時三〇分

○パールコース

立位を中心にした運動です(中程度)。
毎週金曜 午前十時四十五分〜
十一時四十五分

受講料 年間三千元 ※別途、スポー
ツ安全保険料が必要です。

わいわい喫茶

第一月曜日は「わいわい」と、
よもやま話でお茶しませんか。



毎月、第一月曜日、午後一時から、
手作りお菓子を楽しみながら、館利用
者、地域住民の方々との交流の場を目
的にしています。

今年度の初回は四月七日(月)の開
催でした。手づくりチーズケーキを味
わいながら、思い思いの話をはずませ
ていました。

次回の開催は、六月は二日(月)です。
ご近所お誘いあわせのうえ、お気軽に
お越しください。



プラチナコースの皆さん



ゴールドコースの皆さん



パールコースの皆さん

『うちこ人権映画祭』

うちこ人権映画祭を三月十二日(水)に開催しました。

今回の上映作品は「桜色の風が吹く」です。盲ろう者として世界で初めて大学教授になった福島智の生い立ちを描いた作品です。

昼の部には、内子中学校三年生を中心に一〇八名、夜の部には、一般の方を中心に六十四名の方が鑑賞されました。

「障がいがあっても平等でチャンスがある社会をつくりたい。」など、前向きな感想が聞かれ好評でした。



『第2回やさしい人権講座』

「誰一人取り残されない 社会を目指して」

社会を目指して

三月二十五日(火)にやさしい人権



講座を開催しました。

大洲市人権啓発課の船津治さんに、水俣病裁判で、患者に寄り添い続ける道を選んだ、三瓶村(現西予市)出身の細川一医師の生き方から、人権尊重の大切さを学びました。

参加者からは、「日常生活において差別を見ようとする聞こえとする姿勢を忘れないでいたい」と、自身を再確認したいとの意見も聞かれました。

で迷惑をおかけしました。

異動のごあいさつ

全館、新しいトイレになりました。和式便器を撤去して、洋式便器に入れ替え、床の段差解消や手すりを設置しました。

また、一階の多目的トイレには、おむつ交換台を設置しました。子育て中の方から高齢の方まで、安心してより快適にご利用いただけるようにしました。



1Fの多目的トイレ



機能回復訓練室のトイレ

初めてのことで、先輩方や同僚ならびに地域のみな様方に沢山助けをいただきました。あっという間に過ぎた二年間で、たくさんの方に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

多くのやり残しなど、大変ご迷惑をおかけしますこと、誠に申し訳ありません。これからは、うちこ福祉館の仲間の一員として、再びお会いできる日を楽しみにしております。

内子総合窓口センター

所長 坂見治

四月の人事異動で、うちこ福祉館に勤めることになりました。

実は、二十数年前にも福祉館に勤めていたことがあります。その当時の事業が、来館者や地域の方々を支えられ、継続・発展していることがすごいと感激しています。

これから、内子町の人権尊重のまちづくりに、微力ながら尽力したいと思えます。よろしく願います。

うちこ福祉館 係長 前野 良二

